



ゆめと いきいき きたかい
高知家の教育

第3回教育委員会協議会の検討項目

1 次期計画の期間（案）について 【資料 P2】

令和7年度～令和14年度（8年間）（前期：R7～R10 後期：R11～R14）

2 検討スケジュール（案）について 【資料 P2】

令和6年度末 策定

3 次期計画の目指す姿について 【資料 P10】

「子どもたち一人一人が夢や希望に向かっていきいきと学ぶ学校」
～ デジタル、グリーン、グローバル、多様性への対応 ～

4 目指す姿を実現するための取組について 【資料 P10】

- (1) 学校の魅力化・特色化
- (2) スクール・ミッション、スクール・ポリシー等による学校の特色の明確化
- (3) これからの社会変化に対応した高校改革（学科・コースの改編等）
- (4) 入学定員の見直しによる、各高等学校の規模や入学定員に応じた学びへの転換
（教育課程の共通化・特色化）
- (5) 中山間地域等の小規模校は、地元市町村と連携した、地元中学校からの進学者数の増加など、
生徒数確保に向けた取組
- (6) ICTの活用による、場所を選ばない学びの実現

5 カテゴリ別の検討について 【資料 P12～15】

- スクール・ミッションに対応したカテゴリ別の協議
- カテゴリの区分や、協議の方向性等

- | | | |
|--------------|--------------|---------------|
| A 高知市・南国市の学校 | B 地域の拠点校 | C 中山間地域等の小規模校 |
| D 産業系の専門高校 | E 定時制・通信制の学校 | |

次期計画期間・検討スケジュール

◆ 次期計画の期間（案）

令和7年度～令和14年度（8年間）（前期：R7～R10 後期：R11～R14）

R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	R 13	R 14
次期計画 策定	前期実施計画				後期実施計画			
			前期実施計画の取組検証 (R8～10入学者数等)				後期実施計画の取組検証 次期計画(R7～14)の総括	
前期実施 計画策定				後期実施 計画策定	第 4 期教育大綱・第 5 期教育振興基本計画を 踏まえ策定			
	第 3 期教育大綱・第 4 期教育振興基本計画				第 4 期教育大綱・第 5 期教育振興基本計画			

◆ 今後の検討スケジュール（案）

令和6年度

8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<27日> 第3回教育委員会協議会		<10～11月> 第4回教育委員会協議会 (カテゴリ別の検討等)		<12～1月> 第5回教育委員会協議会 (スクール・ミッション等の検討) (各学校のあり方と前期実施計画)			
	市町村訪問による協議				次期計画パブリックコメント		次期計画策定 前期実施計画策定

- ※ 今後、中山間地域等の高等学校について、地元の市町村を訪問し、これからの学校の在り方や振興に向けた意見交換等を実施。意見交換等の状況を踏まえ、各高等学校ごとに、在り方や方向性を検討する。
- ※ 検討は、県立高等学校の役割ごとに分類して検討する。これらの検討時間を確保するため、次期計画及び前期実施計画の策定を令和7年3月（予定）とする。

これまでの県立高等学校再編振興計画（H26～R5）の取組と総括

○ 少子化・南海トラフ地震津波対策による統合等 36校 → 33校（分校含む）

- 須崎総合高等学校（須崎工業と須崎の統合）
- 高知国際高等学校（高知南と高知西の統合）
- 安芸高等学校（安芸と安芸桜ヶ丘の統合）
- 清水高等学校の高台移転

○ ICTの活用による教育の充実

- 遠隔教育の拡充
 - ・ 遠隔授業の実施
R2：10校14講座 → R6：14校のべ39講座
 - ・ 遠隔補習の受講生徒のうち、国公立大学進学希望者の合格率（現役）
R2：68.8%（16人中11人合格）→ R5：64.5%（31人中20人合格）
- 1人1台タブレット端末の整備（R3）
- 学習アプリケーション等の活用による個別学習の推進

○ 中山間地域の学校の振興

※中山間地域の学校（10校）

室戸、中芸、嶺北、吾北分校、佐川、窪川、橋原、四万十、西土佐分校、清水

- 遠隔教育の拡充 ※再掲
- 生徒全国募集の拡大 H31：8校15人 → R6：13校49人
⇒入学者数の増加 <例> 橋原高等学校 H31：43人 → R6：50人
- 特色ある部活動
室戸（女子硬式野球）、嶺北・西土佐（カヌー）、大方（女子サッカー）

○ 進路希望に応じた指導の充実

※進学拠点校（7校（令和5年度統合完了までは高知西を含む8校））

安芸、山田、高知追手前、高知小津、高知国際、須崎総合、中村

卒業年度	H31	R2	R3	R4	R5※
4年制大学進学者数（人）	1,613	1,477	1,611	1,626	1,576
国公立大学進学者数（人） （進学拠点校からの進学者数）	525 (376)	561 (407)	575 (425)	599 (437)	646 (466)

※R5は速報値

<総括>

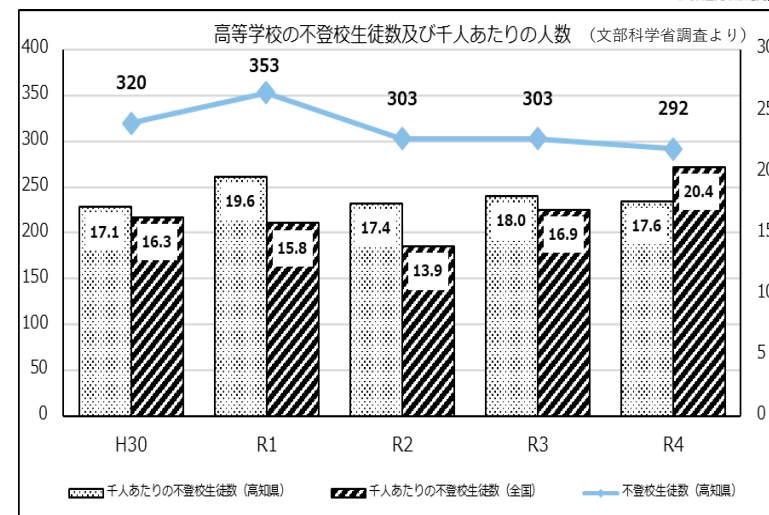
- 計画に沿った学校統合や校舎の高台移転整備が進んだ
- 1人1台タブレット端末の整備や遠隔授業の開始などにより、ICTを活用した教育内容の充実を図った
遠隔教育のニーズの増加に伴い、配信スタジオの確保や、複数校に渡る日課表及び時間割調整が課題
- 中山間地域の学校では、市町村が主体となって生徒数確保に取り組む学校が増加
しかし、地元中学校からの進学割合の向上につながらず、生徒数確保が課題（10校の平均31.1%（R6.4））
- 国公立大学への進学者数は、R5に646人となり、向上
進学拠点校以外の高等学校でも着実に進学者数が増加



高知県の教育
高知家の教育

教育を取り巻く現状

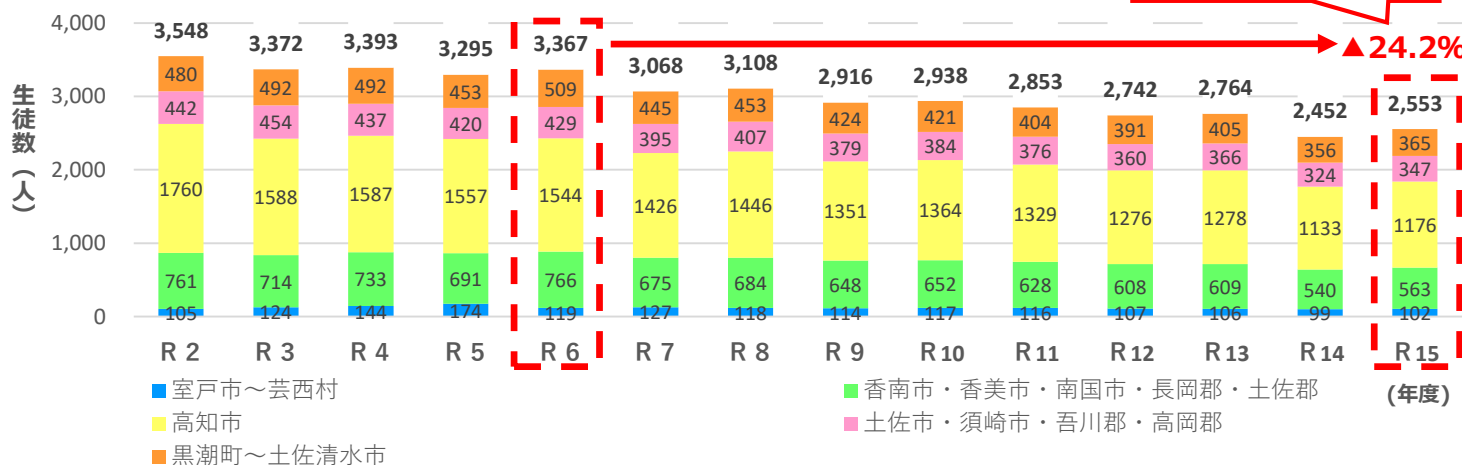
課程等	現行の最低規模の基準・計画内容	R6現在 基準未達の学校
本校	○ 1 学年 2 学級以上 ○【特例校】1 学年 1 学級（20人）以上 ● 過疎化が著しく、近隣に他の高等学校がない学校 対象 8 校：室戸、中芸、嶺北、佐川、窪川、橋原、四万十、清水 ● 不登校経験者や発達障害のある生徒等にも柔軟な対応ができる支援体制を整えた学校 対象 4 校：（中芸、）城山、高岡、大方 ※中芸は、「過疎化が著しく、近隣に他の高等学校がない学校」でもある	高知海洋(29) 四万十(12) 〔◇20人台の学校 室戸、佐川、窪川〕 中芸(13) 〔◇20人台の学校 城山〕 ※()は令和6年5月1日現在の1年生生徒数
分校	○ 1 学年 1 学級20人以上 →分校は小規模ということが前提となっていることから、計画期間中は、基本的に継続する。 対象 2 校：吾北分校、西土佐分校	吾北分校(11) 西土佐分校(4) ※()は令和6年5月1日現在の1年生生徒数
定時制 夜間部	○ 学校全体の生徒数20人以上 →規模よりも、働きながら学ぶことや学び直しなど、様々な学習歴の生徒にとつての学びのセーフティネットとしての側面を重視する必要がある。 →最低規模の基準については、望ましい数字ではあるが、この数にこだわることなく、地域にとって必要な定時制は、維持すべきであり、計画期間中は、基本的に継続する。 対象12校：室戸、中芸、山田、高知東工業、高知工業、高知北、高岡、須崎総合、佐川、大方、宿毛、清水	9 校 室戸(13)、中芸(15)、 高知東工業(18)、高岡(14)、 須崎総合(19)、佐川(11)、 大方(13)、宿毛(13)、 清水(13) ※()は令和6年5月1日現在の全校生徒数



通信制課程に在籍している生徒数（学校基本調査より）（人）

	H26	R1	R5
全 国			
公立	71,180	56,373	57,437
私立	112,574	141,323	207,537
合計	183,754	197,696	264,974

県立高等学校全日制入学者数の現状及び推計（R7以降は推計）



さらに小規模校化が進む

学校所在地	学校名	R6 → R15 減少率
室戸市 ～芸西村	室戸、安芸	▲ 14.3%
香南市・香美市・ 南国市・長岡郡・ 土佐郡	城山、山田、 嶺北、高知農業、 高知東工業、岡豊	▲ 26.5%
高知市	高知東、高知工業、 高知追手前、高知 丸の内、高知小津、 高知国際、春野	▲ 23.8%
土佐市・須崎市・ 吾川郡・高岡郡	吾北分校、伊野商業、 高岡、高知海洋、 須崎総合、佐川、 窪川、橋原、四万十	▲ 19.1%
黒潮町 ～土佐清水市	大方、幡多農業、 中村、西土佐分校、 宿毛工業、宿毛、清水	▲ 28.3%
県立高等学校全日制入学者数 （県全体）		▲ 24.2%



高知家の教育

地域別の入学者数の推移と推計（全日制）

「入学者数推計」の試算方法：令和6年5月1日現在の児童生徒数から、私立・高専等への入学者数の推計値（令和2年度から令和6年度までの平均値2,181人）を減じて県立高等学校全体の推計値を算出したうえで、中山間地域等の小規模校については、地元中学校からの進学割合等を考慮した推計値とし、その他の高等学校については、令和2年度から令和6年度までの入学者数の平均値をもとに、按分して試算

※ R2～4の安芸は、安芸（普通：定員120）と安芸桜ヶ丘（工業：定員40、商業：定員40）の計

※ R2の高知国際は、高知南（普通：定員200、国際関係：定員40）と高知西（普通：定員240、外国語：定員40）の計

1 全日制

地域	学校名	学科名	R6 入学定員	R 2 ～ 6 平均		入 学 者 数					入 学 者 数 推 計									
				入学者数	定員充足率	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	
室戸市 ～ 芸西村	室戸	総合	80	32	39.5%	27	22	35	49	25	34	23	26	27	29	23	22	25	25	
	安芸	普通	120	73	60.8%	55	77	78	95	60	67	68	63	64	62	60	60	53	55	
		工業	40	10	24.0%	4	12	15	10	7	9	9	9	9	9	8	8	7	8	
		商業	40	19	47.5%	19	13	16	20	27	17	18	16	17	16	16	16	14	14	
	小 計		280	134	47.9%	105	124	144	174	119	127	118	114	117	116	107	106	99	102	
香南市 香美市 南国市 長岡郡 土佐郡	城山	普通	80	26	32.8%	33	29	20	25	24	27	26	24	24	23	25	23	23	23	
	山田	普通	80	66	82.0%	80	59	71	61	57	60	61	57	58	56	54	54	48	50	
		探究	80	16	19.8%	16	18	12	9	24	15	15	14	14	14	13	13	12	12	
		商業	40	25	63.5%	28	28	31	27	13	23	23	22	22	21	20	21	18	19	
	嶺北	普通	80	35	44.0%	34	32	42	27	41	33	35	41	39	32	34	35	28	33	
	高知農業	農業	240	179	74.5%	188	157	163	178	208	164	166	155	157	153	146	147	130	135	
	高知東工業	工業	160	93	57.9%	99	90	87	89	98	85	86	81	81	79	76	76	68	70	
	岡豊	普通	320	293	91.7%	283	301	307	275	301	268	272	254	257	250	240	240	213	221	
小 計		1,080	733	67.9%	761	714	733	691	766	675	684	648	652	628	608	609	540	563		
高知市	高知東	総合	200	198	99.0%	200	199	200	200	191	181	184	172	173	169	162	162	144	149	
	看護	30	26	88.0%	22	26	30	30	24	24	24	24	23	23	22	21	21	19	20	
	高知工業	工業	280	271	96.7%	250	280	272	274	278	248	251	235	237	231	222	222	197	204	
	高知追手前	普通	280	232	82.7%	247	245	231	234	201	212	215	201	203	198	190	190	169	175	
	高知丸の内	普通	150	147	97.9%	147	147	147	147	146	134	136	127	129	125	120	121	107	111	
		音楽	30	13	44.7%	12	19	16	12	8	12	12	11	11	11	11	11	9	10	
	高知小津	普通	240	238	99.0%	240	239	241	228	240	218	221	206	208	203	195	195	173	179	
		理数	40	32	80.5%	34	35	39	25	28	29	30	28	28	27	26	26	23	24	
	高知国際	普通	200	200	100.0%	439	200	200	200	201	183	185	173	175	171	164	164	145	151	
		国際関係	80	75	93.8%	70	78	70	75	82	69	70	65	66	64	61	62	55	57	
春野	総合	160	127	79.6%	99	120	141	132	145	116	118	110	111	108	104	104	92	96		
小 計		1,690	1,559	92.2%	1,760	1,588	1,587	1,557	1,544	1,426	1,446	1,351	1,364	1,329	1,276	1,278	1,133	1,176		
土佐市 須崎市 吾川郡 高岡郡	吾北分校	普通	40	10	25.0%	10	7	12	11	10	9	10	8	6	8	7	8	6	8	
	伊野商業	商業	160	114	71.4%	132	112	111	108	108	104	106	99	100	97	93	94	83	86	
	高岡	普通	80	28	35.0%	20	38	29	23	30	25	25	24	25	25	24	26	23	25	
	高知海洋	水産	80	36	45.5%	42	45	36	30	29	33	33	31	32	31	29	30	26	27	
	須崎総合	普通	120	71	59.0%	73	81	58	74	68	65	66	62	62	61	58	58	52	54	
		工業	120	54	45.3%	60	46	47	50	69	49	50	47	47	46	44	44	39	41	
	佐川	普通	80	34	43.0%	32	36	43	35	26	33	33	33	28	30	27	29	23	27	
	窪川	普通	80	26	32.3%	14	29	37	22	27	23	26	20	24	20	22	22	19	25	
	橋原	普通	80	42	52.8%	40	40	39	42	50	37	39	38	41	39	39	39	34	36	
	四万十	普通	80	20	25.3%	19	20	25	25	12	17	19	17	19	19	17	16	19	18	
	小 計		920	435	47.3%	442	454	437	420	429	395	407	379	384	376	360	366	324	347	

地域別の入学者数の推移と推計（全日制、多部制単位制、定時制）

1 全日制（続き）

地域	学校名	学科名	R6 入学定員	R 2 ～ 6 平均		入 学 者 数					入 学 者 数 推 計								
				入学者数	定員充足率	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
黒潮町 ～ 土佐 清水市	大方	普通	80	32	39.8%	27	35	23	36	38	31	29	28	28	27	28	30	26	27
	幡多農業	農業	160	83	51.8%	86	104	74	70	80	76	77	72	73	71	68	68	60	63
	中村	普通	200	164	82.2%	171	153	154	167	177	150	152	142	144	140	134	135	119	124
	西土佐分校	普通	40	6	16.0%	6	7	7	8	4	5	6	6	4	4	4	5	4	4
	宿毛工業	工業	160	101	63.0%	96	110	108	88	102	92	94	88	88	86	83	83	73	76
	宿毛	総合	120	64	53.3%	59	56	77	62	66	65	67	62	57	56	53	60	52	50
	清水	普通	80	35	43.8%	35	27	49	22	42	26	28	26	27	20	21	24	22	21
	小 計		840	485	57.7%	480	492	492	453	509	445	453	424	421	404	391	405	356	365
計（県立）			4,810	3,346	69.9%	3,548	3,372	3,393	3,295	3,367	3,068	3,108	2,916	2,938	2,853	2,742	2,764	2,452	2,553

2 多部制単位制

学校名	学科名	R6 入学定員	R 2 ～ 6 平均		入 学 者 数					入 学 者 数 推 計									
			入学者数	定員充足率	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	
中芸	普通(昼間)	40	13	32.5%	13	15	15	9	13	12	12	11	11	11	11	11	9	10	
	普通(夜間)	40	4	9.5%	4	1	4	6	4	4	4	3	4	3	3	3	3	3	
高知北	普通(昼間)	80	61	76.3%	71	63	68	50	53	56	57	53	53	52	50	50	44	46	
	普通(夜間)	40	10	25.5%	6	7	9	10	19	9	9	9	9	9	8	8	7	8	
計（県立）		200	88	44.0%	94	86	96	75	89	81	82	76	77	75	72	72	63	67	

3 定時制

学校名	学科名	R6 入学定員	R2～6平均		入 学 者 数					入 学 者 数 推 計								
			入学者数	定員充足率	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
室戸	普通	40	3	7.0%	1	5	0	3	5	3	3	3	3	3	2	2	2	2
山田	普通	40	6	14.5%	2	6	8	4	9	5	6	5	5	5	5	5	4	5
高知東工業	工業	40	3	8.5%	4	2	2	2	7	3	3	3	3	3	2	2	2	2
高知工業	工業	160	7	4.4%	8	5	8	8	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5
高岡	普通	40	4	11.0%	7	5	2	5	3	4	4	3	4	3	3	3	3	3
須崎総合	普通	40	4	10.0%	3	3	5	5	4	4	4	3	4	3	3	3	3	3
佐川	普通	40	4	10.0%	8	2	3	4	3	4	4	3	4	3	3	3	3	3
大方	普通	40	3	7.0%	1	3	3	3	4	3	3	3	3	3	2	2	2	2
宿毛	普通	40	3	7.5%	3	2	2	4	4	3	3	3	3	3	2	2	2	2
清水	普通	40	2	6.0%	1	1	5	1	4	2	2	2	2	2	2	2	1	2
計（県立）		520	39	7.6%	38	34	38	39	49	37	38	34	37	34	30	30	27	29

国の動向

◎ 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（令和3年1月 中央教育審議会答申）

◆ 急激に変化する時代の中で育むべき資質・能力

一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要

◆ 2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿

- **個別最適な学び**
「指導の個別化」と「学習の個性化」
- **協働的な学び**
「個別最適な学び」が「孤立した学び」に陥らないよう、探究的な学習や体験活動等を通じ、子供同士で、あるいは多様な他者と協働しながら、「協働的な学び」を充実

◆ 「令和の日本型学校教育」の構築に向けた今後の方向性

- 全ての子供たちの知・徳・体を一体的に育むため、これまで日本型学校教育が果たしてきた、
- **学習機会と学力の保障**
 - **社会の形成者としての全人的な発達・成長の保障**
 - **安全安心な居場所・セーフティネットとしての身体的、精神的な健康の保障**
- を学校教育の本質的な役割として重視し、継承

◆ 新時代に対応した高等学校教育等の在り方

- 高校生の学習意欲を喚起し、可能性及び能力を最大限に伸長するための**特色化・魅力化**
- 定時制・通信制課程における**多様な学習ニーズへの対応と質保証**
- STEAM教育等の**教科等横断的な学習の推進による資質・能力の育成**

◎ 高等学校教育の在り方ワーキンググループ中間まとめ（令和5年8月 中央教育審議会初等中等教育分科会）

◆ これからの高等学校の在り方に係る基本的な考え方

高校教育の実態は地域・学校により非常に多様な状況。

- 生徒一人一人の個性や実情に応じて多様な可能性を伸ばす「**多様性への対応**」
- 全ての生徒が必要な資質・能力を共通して身に付けられるようにする「**共通性の確保**」

を併せて進めることが必要。

◆ 少子化が加速する地域における高等学校教育の在り方

- 同時双方向型の**遠隔授業やオンデマンド型の学習を可能とする通信教育の活用、学校間連携の推進**が必要。
- 生徒の教育条件の改善という視点が大切。
スクール・ミッションを実現できているかどうかや、生徒のニーズ、希望する進路等も踏まえ、スクール・ポリシーを検討。**生徒が行きたいと思える学校づくり、特色化・魅力化を進め、生徒の学習意欲を高める**ことが必要。
- 小規模校は配置教職員数が限られるため、**地域との協働や他校との連携**を行い、生徒が地域に根差した学校で成長できるよう、コミュニティ・スクールの導入やコーディネーター等の専門的な人材配置など、体制・環境を整備していくことが必要。

◆ 全日制・定時制・通信制の望ましい在り方

- いつでも、どこでも、どのようにでも学ぶことが等しく認められるように、**生徒の状況に応じた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な実現**が重要。
- **全日制・定時制**において、**多様な生徒が現籍校での学びを継続しながら、多様な学びを実現して卒業**できるよう、支援の充実、入学者選抜における適切な評価、履修・修得の柔軟な認定、通信教育の活用、学びの多様化学校の設置や校内教育支援センターの設置促進、学校間連携等の促進、ICT活用の体制・環境整備などを考えていくことが重要。
- **通信制課程**に多様な課題を抱える生徒が多く在籍していることを踏まえ、**必要な支援体制を整える**とともに、**生徒が人間関係を築きながら、自分のよさや可能性を認識し、多様な人々と協働する機会**を充実させていくことが重要。
- **公立通信制**は生徒数が減少傾向にあるが、特に経済的な面にも課題を抱える生徒にとって重要な教育機関であり、**一層の魅力向上・機能強化を図る**ことが必要。

本県の動向

◎ 第3期教育等の振興に関する施策の大綱及び第4期高知県教育振興基本計画

◆ 基本理念（目指す人間像）

- 学ぶ意欲にあふれ、心豊かでたくましく夢に向かって羽ばたく人
- 郷土への愛着と誇りを持ち、高い志を掲げ、日本や高知の未来を切り拓く人
- 多様な個性や生き方を互いに認め、尊重し、協働し合う人

※ 目指す人間像（基本理念）を実現することで、個人が持続的に幸せを感じ、また、地域 や社会もよい状態が続く「ウェルビーイング（Well-being）」の実現にもつながる

◆ 目指す人間像を実現するための基本目標

- 確かな学力の育成と、自己の将来とのつながりを見通した学びの展開
- 健やかな体の育成と、基本的な生活習慣の定着
- 豊かな心の育成と、多様性・包摂性を尊重する教育の推進

◎ デジタル化、グリーン化、グローバル化の進展（県の関係施策）

◆ デジタル化

- 1人1台端末等のICT機器を活用した個別最適・協働的な学習・指導の実現
- デジタル社会、Society5.0を見据えた子どもたちに必要な資質・能力の育成
- デジタル・ICTを活用し、多様な状況にある子どもたちに寄り添った教育・支援を展開
- デジタル化による業務の効率化・負担軽減等を通じて学校の「働き方改革」を推進

◆ グリーン化

- 学校施設の省エネルギー化、環境負荷への軽減
- 豊かな自然資源等も生かした環境教育・体験活動の促進

◆ グローバル化

- 外国人児童生徒や外国にルーツを有する若者等への教育機会の確保
- グローバル社会で活躍できる人材を育成

◎ 高知県中山間地域再興ビジョン（R6～R15）

- 中山間地域を再興し、県土の持続的な発展を目指す
- 目指す姿の中心「若者の人口増加」
→ 少子化対策と一体となった新たな中山間対策を推進
 - 柱1：「暮らし」を支える
 - 柱2：「活力」を生む
 - 柱3：「しごと」を生み出す

◆ 10年後の数値目標

- 若者のうち、減少、流出の著しい34歳以下の人口について、中山間地域の全ての市町村で令和4年よりも増加を目指す
- 出生数について、中山間地域の全ての市町村で令和4年よりも増加を目指す

◆ 県教委の取組と目標

- 全国生徒募集の拡大による県外生徒数の増加（R5入学：30人 → R9：70人）
- 中山間地域の高等学校における地元中学校からの進学割合の増加（R5入学：平均31.6% → R15入学：平均50.0%）

県立高等学校の在り方検討委員会等の検討状況（概要）

県立高等学校の在り方検討委員会のまとめの方向性

○中山間地域の高等学校

- ・地域と協働して学校の魅力化に取り組む必要がある。
- ・最低規模の基準は設定しなくてもよいが、社会性の育成にはある程度の生徒数が必要であり、1学級20人以上を目安とする。分校は10人以上。
- ・今後、数年にわたり目安の生徒数を維持できない場合、高等学校の在り方を検討する。厳しい状況にあることを地域も理解し、プロセスを明確にしておくこと。

○高知市・南国市の高等学校

- ・生徒数が多ければ複数の教科・科目や部活動の設置が可能となる。
- ・生徒が集中する地域の学校は一定規模（少なくとも4学級）を維持。

○地域の拠点校

- ・一定の規模（4学級以上）を維持すべき。

○定時制・通信制の高等学校

- ・生徒数の目安に関わらず、I C Tを活用したサテライト教室等を整備。
- ・定時制の再編を行ってはどうか。

○魅力化・特色化

<普通科>

- ・普通科が魅力的に映るような改革が必要。
- ・多様な生徒が学ぶことができる環境整備が必要。
- ・連携を強化し、小中学校を巻き込んだ活動により、地元のよさを認識してもらう必要がある。

<産業系専門学科>

- ・時代や社会のニーズに合った教育課程とし、産業界の必要とする人材を明確にする。
- ・I C Tを活用した最先端の学びを取り入れていくことが必要。

○その他

- ・時代に合った学びを取り入れた学科等に再編。
- ・多様な学習ニーズのある生徒、日本語を母語としない生徒等への柔軟な教育環境の構築。
- ・これから入学してくる生徒にとってあるべき学校の姿を検討。

高知県産業教育審議会からの主なご意見

協議の枠組みについて	・少子化に対応するためには、主要なコンセプトが要るのではないかな。 ・県立大学の附属校化や、産業系専門高校と提携して高度化していくなど、全国に先んじてやれることがあるのではないかな。 ・新しい教育構造の発想がないと課題に対応し切れないのではないかな。
学科の在り方について	・就職や進学後に改めて学びたいと思ったときに、再教育を保障するシステム（リカレント教育など）が必要ではないかな。 ・入学後の進路変更に対応した柔軟な教育システムが必要である。 ・社会で、子供たちを育てていくという視点をもっと必要ではないかな。 ・子供たちのエージェンシー（変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任を持って行動する能力）を生み出していくという教育システムが大事である。
学校の魅力化・特色化	・農業科などで、環境や気候変動などに対応した研究をする学科があればよい。 ・被災後の生活を考えたときに、農地として再び使えるようにすることなどを学ぶことができ、未来に向けた研究ができる学科があればよい。 ・リスキリングのように、個人が努力してステップアップしていく考え方も入ってきている。学び続けたいといけないう状況が起きていることを教育の中でも伝えていかないといけない。 ・中学生と産業系専門学科の高校生が交流を行い、中学生が高校生の学びに興味を持つような学校間の交流が必要である。 ・いろいろな職種の方の力を借りて、課題解決ができるよう、様々な人との交流を通した学びを取り入れる必要がある。
高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール)	・デジタル分野を中学校で学んだ生徒が引き続き学べるように、中高で連携することが重要である。 ・ものづくりを行う中で、いかにデジタル化が大切かということを感じている。今の高校や大学の教育でデジタル化に対応した人材を育成することにより、短い期間で会社に変化を遂げていくことができる。
外国にルーツのある子供たちへの対応	・外国からの移住者が居住地を選ぶ際、外国人に対する教育機会の確保に配慮した教育システムがどのくらいあるかがポイントとなる。高校段階で選ばれることがとても重要である。 ・入学試験にどのように対応するかということも併せて検討いただきたい。

次期計画の目指す姿、取組の方向性

■ 目指す姿

「子どもたち一人一人が夢や希望に向かっていきいきと学ぶ学校」～デジタル、グリーン、グローバル、多様性への対応～

■ 取組の方向性

高等学校においては、生徒の「進路実現」を図ることが使命

そのため学校では、

- 個別最適な学び、協働的な学びの充実
- 生徒一人一人の進路希望に応じた支援体制の構築
- 生徒・保護者等にとってわかりやすい学校づくり
(進学、就職、芸術、スポーツ、産業教育、海外交流、地域交流など)
- これからの社会に必要とされるデジタル化（ＩＣＴ）、グリーン化、
グローバル化に対応した教育
- 自主性や主体性を育む教育（探究活動など）
- 生徒の多様なニーズに対応した教育 などを行う必要がある

入学者数等の状況（令和６年度）

全日制	入学定員	4,810人
	入学者数	3,367人
	定員充足率	70.0%
多部制単位制 (昼間部・夜間部)	入学定員	200人
	入学者数	89人
	定員充足率	44.5%
定時制	入学定員	520人
	入学者数	49人
	定員充足率	9.4%

入学定員の見直し

<全日制>

- 令和８年度から令和14年度までに、少なくとも1,200人以上減を実施し、定員充足率を高める

<多部制単位制、定時制>

- 定時制の再編を実施
〔 通信制による学びへの
転換等の検討 〕

目指す姿を実現するための取組

- 学校の魅力化・特色化
- スクール・ミッション、スクール・ポリシー等による学校の特色の明確化
- これからの社会変化に対応した高校改革（学科・コースの改編等）
- 入学定員の見直しによる、各高等学校の規模や入学定員に応じた学びへの転換
(教育課程の共通化・特色化)
- 中山間地域等の小規模校は、地元市町村と連携した、地元中学校からの進学者数の増加など、生徒数確保に向けた取組
- ＩＣＴの活用による、場所を選ばない学びの実現

次期計画の検討にあたっての基本的な視点（県全体）

■ 検討の視点

これから入学する生徒にとって、高校のあるべき姿として、どのような学校がよいのか。

- 教育の機会の確保や質の保証、誰一人取り残さない教育、生徒の進路希望の実現
- それぞれの地域で学ぶ場所を確保し、かつ高校生としての学びを担保する。

<現状や課題>

- ・志願者数の減少
- ・現代社会への対応
(デジタル、グリーン、グローバル化)

<キーワード>

魅力化・特色化

<検討内容等>

- ・地域との連携・協働
- ・大学、企業、中高の連携
- ・学びのネットワークの構築
- ・学科改編
- ・部活動の選択と集中（強化指定）

- ・少子化の進行
- ・小規模校化
- ・空き定員の増加
(定員充足率の低下)

共通化・適正化

- ・学級数・入学定員の見直し
- ・教育課程の見直し
- ・遠隔教育、I C Tの充実

- ・不登校生徒に対する支援体制
- ・日本語が母語ではない生徒への対応
- ・定時制の生徒数の大幅な減少
- ・通信制のニーズの拡大

多様性・包摂性

- ・柔軟な学びの環境づくり
- ・新たなコース等の設置
- ・定時制・通信制の再編

スクール・ミッション

スクール・ミッション、スクール・ポリシーとは

◆ 各高等学校に期待される社会的役割等（スクール・ミッション）の再定義

高等学校の設置者は、各高等学校やその立地する市町村等と連携しつつ、各高等学校に期待される社会的役割等（いわゆるスクール・ミッション）の再定義を行う。

◆ 高等学校における「三つの方針」（スクール・ポリシー）の策定・公表

高等学校は、当該学校、全日・定時・通信制の課程又は学科ごとに以下の方針（いわゆるスクール・ポリシー）を定め、公表する。

- (a) 高等学校学習指導要領に定めるところにより育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）
- (b) 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）
- (c) 入学者の受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

各高等学校のスクール・ミッションの方向性（案）

→ **大きな方向性を定めるために、高等学校をA～Eの5つのカテゴリに分類**

A 高知市・南国市の規模の大きな高等学校

多様な教科・科目や部活動等を置くことで、幅広い生徒のニーズに対応する学校

B 地域の拠点となる高等学校

一定の規模とすることで、多くの教科・科目や部活動等を行う環境を整え、各地域の生徒のニーズに対応する学校

C 中山間地域等の高等学校

地域の核として、地元市町村との連携・協働を進め、その地域でしか学ぶことができない特色ある教育活動を展開し、地域の学校としての存在価値を高め、生徒一人一人を輝かせることができる学校

D 産業系の高等学校

社会変化に対応した先端教育や、企業との連携による活動により、本県の産業を支える人材を育成する学校

E 定時制・通信制の高等学校

生徒個々の多様な学びのニーズに応え、生徒の成長を支援する体制を整えた学校

検討における高等学校の分類（カテゴリ）と協議の方向性

※ 各高等学校のスクール・ミッションの大きな方向性を踏まえ、5つのカテゴリに分類して検討する
(カテゴリ別の再編基準の設定も検討)

区分	対象校	他の区分と重なる学校等	協議の方向性
A 高知市・南国市の学校 (7校)	<南国市> 岡豊 <高知市> 高知東、高知追手前、高知丸の内、高知小津、高知国際、春野	«産業系» 高知農業、高知東工業、高知工業 «定時制・通信制» 高知北	○生徒数が集中しており、多様な教科・科目や様々な教育活動を行うために一定規模が必要 → 進学拠点校やその他の学校における学級規模の目安について整理 ○大学や関係機関との連携による学校の魅力化 ○文化・体育部活動の拠点としての位置付け
B 地域の拠点校 (4校)	<東部> 安芸 <中部> 山田【香美・香南】 須崎総合【高吾】 <西部> 中村	* 安芸、山田、須崎総合は、産業系専門学科を併置	○広域のエリアごとに進学や部活動等の拠点となる学校として一定規模が必要 → 学級規模の目安について整理 ○大学や関係機関との連携による学校の魅力化 ○文化・体育部活動の拠点としての位置付け
C 中山間地域等の小規模校 (13校)	<東部> 室戸 <中部> 城山、嶺北、吾北分校、高岡、佐川、窪川、橋原、四万十 <西部> 大方、西土佐分校、宿毛、清水	«定時制・通信制» 中芸	○地域と一体となった学校の魅力化・特色化 ○県の方針（ビジョン）と歩調を合わせた振興 ○生徒数の確保に向けた対策 → 県外生徒を含む生徒数の目標値や、地元中学校からの進学割合を、学校ごとに設定 学校と地元市町村がアクションプラン策定
D 産業系の専門高校 (7校)	<農業> 高知農業、幡多農業 <工業> 高知東工業、高知工業、宿毛工業 <商業> 伊野商業 <水産> 高知海洋	◇参考：職業教育を主とする専門学科を併置する学校 «工業»安芸、須崎総合 «商業»安芸、山田 «看護»高知東	○これからの社会を見据えた教育内容の見直し → 学科改編を含めて検討 ○高度な学びができる環境づくり ○地元企業との結びつきの強化
E 定時制・通信制の学校 (12校)	<定時制> 【2部制(昼・夜)】中芸、高知北 【全日制との併置】室戸、山田、高知東工業、高知工業、高岡、須崎総合、佐川、大方、宿毛、清水 <通信制> 高知北、大方		○多様な学習ニーズへの対応を踏まえた学びの機会の保障 → ICT等の活用による新たな定時制・通信制の検討（改編） → 不登校生徒や、日本語を母語としない生徒等への柔軟な対応や支援体制



カテゴリ別の入学者数の推移と推計（全日制）

「入学者数推計」の試算方法：令和6年5月1日現在の児童生徒数から、私立・高専等への入学者数の推計値（令和2年度から令和6年度までの平均値2,181人）を減じて県立高等学校全体の推計値を算出したうえで、中山間地域等の小規模校については、地元中学校からの進学割合等を考慮した推計値とし、その他の高等学校については、令和2年度から令和6年度までの入学者数の平均値をもとに、按分して試算

※ R2～4の安芸は、安芸（普通：定員120）と安芸桜ヶ丘（工業：定員40、商業：定員40）の計

※ R2の高知国際は、高知南（普通：定員200、国際関係：定員40）と高知西（普通：定員240、外国語：定員40）の計

1 全日制（＜区分＞ A：高知市・南国市の学校 B：地域の拠点校 C：中山間地域等の小規模校 D：産業系の専門高校）

区分	学校名	学科名	R6	R2～6平均		入 学 者 数					入 学 者 数 推 計									
			入学定員	入学者数	定員充足率	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	
A	岡豊	普通	320	293	91.7%	283	301	307	275	301	268	272	254	257	250	240	240	213	221	
	高知東	総合	200	198	99.0%	200	199	200	200	191	181	184	172	173	169	162	162	144	149	
		看護	30	26	88.0%	22	26	30	30	24	24	24	23	23	22	21	21	19	20	
	高知追手前	普通	280	232	82.7%	247	245	231	234	201	212	215	201	203	198	190	190	169	175	
	高知丸の内	普通	150	147	97.9%	147	147	147	147	146	134	136	127	129	125	120	121	107	111	
		音楽	30	13	44.7%	12	19	16	12	8	12	12	11	11	11	11	11	9	10	
	高知小津	普通	240	238	99.0%	240	239	241	228	240	218	221	206	208	203	195	195	173	179	
		理数	40	32	80.5%	34	35	39	25	28	29	30	28	28	27	26	26	23	24	
B	高知国際	普通	200	200	100.0%	439	200	200	200	201	183	185	173	175	171	164	164	145	151	
		国際関係	80	75	93.8%	70	78	70	75	82	69	70	65	66	64	61	62	55	57	
	春野	総合	160	127	79.6%	99	120	141	132	145	116	118	110	111	108	104	104	92	96	
	安芸	普通	120	73	60.8%	55	77	78	95	60	67	68	63	64	62	60	60	53	55	
		工業	40	10	24.0%	4	12	15	10	7	9	9	9	9	9	8	8	7	8	
		商業	40	19	47.5%	19	13	16	20	27	17	18	16	17	16	16	16	14	14	
	山田	普通	80	66	82.0%	80	59	71	61	57	60	61	57	58	56	54	54	48	50	
		探究	80	16	19.8%	16	18	12	9	24	15	15	14	14	14	13	13	12	12	
商業		40	25	63.5%	28	28	31	27	13	23	23	22	22	21	20	21	18	19		
須崎総合	普通	120	71	59.0%	73	81	58	74	68	65	66	62	62	61	58	58	52	54		
	工業	120	54	45.3%	60	46	47	50	69	49	50	47	47	46	44	44	39	41		
C	中村	普通	200	164	82.2%	171	153	154	167	177	150	152	142	144	140	134	135	119	124	
	室戸	総合	80	32	39.5%	27	22	35	49	25	34	23	26	27	29	23	22	25	25	
	城山	普通	80	26	32.8%	33	29	20	25	24	27	26	24	24	23	25	23	23	23	
	嶺北	普通	80	35	44.0%	34	32	42	27	41	33	35	41	39	32	34	35	28	33	
	吾北分校	普通	40	10	25.0%	10	7	12	11	10	9	10	8	6	8	7	8	6	8	
	高岡	普通	80	28	35.0%	20	38	29	23	30	25	25	24	25	25	24	26	23	25	
	佐川	普通	80	34	43.0%	32	36	43	35	26	33	33	33	28	30	27	29	23	27	
	窪川	普通	80	26	32.3%	14	29	37	22	27	23	26	20	24	20	22	22	19	25	
	橋原	普通	80	42	52.8%	40	40	39	42	50	37	39	38	41	39	39	39	34	36	
	四万十	普通	80	20	25.3%	19	20	25	25	12	17	19	17	19	19	17	16	19	18	
	大方	普通	80	32	39.8%	27	35	23	36	38	31	29	28	28	27	28	30	26	27	
	西土佐分校	普通	40	6	16.0%	6	7	7	8	4	5	6	6	4	4	4	5	4	4	
D	宿毛	総合	120	64	53.3%	59	56	77	62	66	65	67	62	57	56	53	60	52	50	
	清水	普通	80	35	43.8%	35	27	49	22	42	26	28	26	27	20	21	24	22	21	
	高知農業	農業	240	179	74.5%	188	157	163	178	208	164	166	155	157	153	146	147	130	135	
	高知東工業	工業	160	93	57.9%	99	90	87	89	98	85	86	81	81	79	76	76	68	70	
	高知工業	工業	280	271	96.7%	250	280	272	274	278	248	251	235	237	231	222	222	197	204	
	伊野商業	商業	160	114	71.4%	132	112	111	108	108	104	106	99	100	97	93	94	83	86	
	高知海洋	水産	80	36	45.5%	42	45	36	30	29	33	33	31	32	31	29	30	26	27	
幡多農業	農業	160	83	51.8%	86	104	74	70	80	76	77	72	73	71	68	68	60	63		
宿毛工業	工業	160	101	63.0%	96	110	108	88	102	92	94	88	88	86	83	83	73	76		
計（県立）			4,810	3,346	69.9%	3,548	3,372	3,393	3,295	3,367	3,068	3,108	2,916	2,938	2,853	2,742	2,764	2,452	2,553	

カテゴリ別の入学者数の推移と推計（全日制、多部制単位制、定時制）

1 全日制（＜区分＞ A：高知市・南国市の学校 B：地域の拠点校 C：中山間地域等の小規模校 D：産業系の専門高校）

区分	学校名	R6定員	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
A	高知市・南国市の学校 (高知農業、)(高知東工業、)岡豊、高知東、(高知工業、)高知追手前、高知丸の内、高知小津、(高知北、)高知国	1,730	1,793	1,609	1,622	1,558	1,567	1,446	1,467	1,370	1,384	1,348	1,294	1,296	1,149	1,193
B	地域の拠点校 安芸、山田、須崎総合、中村	840	506	487	482	513	502	455	462	432	437	425	407	409	362	377
C	中山間地域等の小規模校 室戸、(中芸、)城山、嶺北、吾北分校、高岡、佐川、窪川、橋原、四万十、大方、西土佐分校、宿毛、清水	1,000	356	378	438	387	395	365	366	353	349	332	324	339	304	322
D	産業系の専門高校 高知農業、高知東工業、高知工業、伊野商業、高知海洋、幡多農業、宿毛工業	1,240	893	898	851	837	903	802	813	761	768	748	717	720	637	661
計（県立）		4,810	3,548	3,372	3,393	3,295	3,367	3,068	3,108	2,916	2,938	2,853	2,742	2,764	2,452	2,553

2 多部制単位制、定時制（＜区分＞ E：定時制・通信制の学校）

区分	学校名	R6定員	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
E	【昼間】 中芸、高知北	120	84	78	83	59	66	68	69	64	64	63	61	61	53	56
	【夜間】 室戸、中芸、山田、高知東工業、高知工業、高知北、高岡、須崎総合、佐川、大方、宿毛、清水	600	48	42	51	55	72	50	51	46	50	46	41	41	37	40
計（県立）		720	132	120	134	114	138	118	120	110	114	109	102	102	90	96

【参考資料】他道県の適正規模、最低規模の状況等①

R5 全国調査結果等（抜粋）

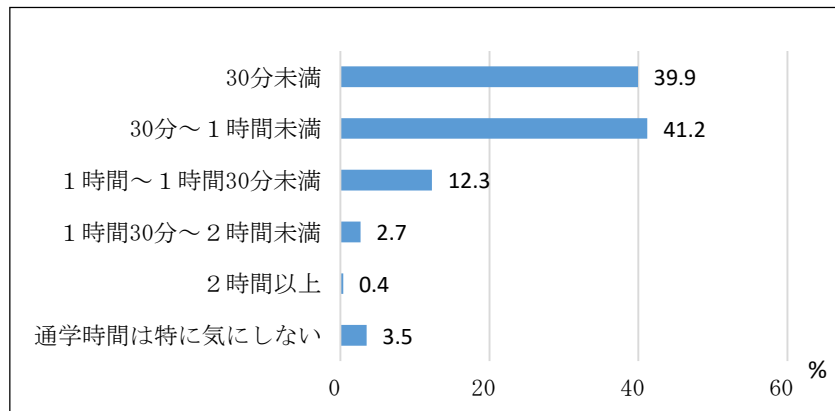
分類	道県名	適正規模について	最低規模について	
		基準等	基準	特例設定等
四国	香川県	設定なし	設定なし	・最低基準はないが、1 学年 3 学級の志度・津田高校は近隣の石田高校と再編統合予定 最小規模：1 学年 3 学級（定員90人）（合格者数：志度85人、津田73人）
	徳島県	設定なし	設定なし	・最低基準はないが、毎年、中3生の数や入学者数を見て、入学定員を見直す 最小規模：本校 1 学年 1 学級（定員45人）（合格者数：穴吹37人、阿波西45人） 分校 1 学年 1 学級（定員30人）（合格者数：神山24人、勝浦28人）
	愛媛県	3～8 学級	設定なし	・同一市町村 1 校に限り、地域へ配慮し特別の基準を設定 最小規模：本校 1 学年 1 学級（定員40人）（合格者数：弓削32人） 分校 1 学年 1 学級（定員40人）（合格者数：大三島28人、砥部40人、中島26人）
中国	島根県	4～8 学級	設定なし	・最低基準はないが、毎年、入学定員を見直す 最小規模：本校 1 学年 1 学級（定員40人）（合格者数：吉賀31人） 分校 1 学年 1 学級（定員40人）（合格者数：掛合29人）
	鳥取県	3 学級以上	小規模校に設定あり 右の「小規模校の在り方に関する基準」参照	○前期計画（R8～R12） R12年度までに、240人程度の募集定員減を目処とする規模の適正化を図るが、原則、学校数は維持 学科の集約や学級減による整理、再編を実施。「小規模校の在り方に関する基準」を引き続き適用する 「小規模校の在り方に関する基準」 1 学年 3 学級の学校は、入学者数が 2 年連続して募集定員の 3 分の 2 に満たない場合は、原則として、募集定員を 1 学年 2 学級とする。 1 学年 2 学級以下の学校は、入学者数が 2 年連続して募集定員の 2 分の 1 に満たない場合、分校化や再編、全国からの生徒募集など新たな特色の設定等を選択肢とし、3 年程度を目途に学校の在り方を検討。 なお、地域と連携した人材育成など小規模校ならではの特色ある取組を推進している学校は、その存続に最大限の努力を払う。特に、中山間地域の高校は、地域における高校の役割が大きい場合は、1 学年 2 学級以下の規模でも小規模校として設置するとともに、次の取組を実施。 ・地域外から生徒を呼び込むことのできる特色あるカリキュラム編成を検討 ・地元自治体等と協力した学生寮等住環境の整備 ○最小規模：本校 1 学年 2 学級（定員76人）（合格者数：青谷46人、岩見59人、日野35人）
	岡山県	4～8 学級	1 学年 4 学級以上	・1 学年100人を2年連続して下回ると再編整備、80人を下回ると翌年募集停止 ただし、通学の利便性に配慮し、同一市町に高校が一つの場合は適用を保留
	広島県	1 学年 6 学級を念頭におきつつ、 中山間地域：1 学年 2～6 学級 中山間以外：1 学年 4～8 学級	設定なし	○1 学年 1 学級規模の全日制高等学校 ・2 年連続して「新入学生徒数が入学定員の 2 分の 1 (20 人)未滿又は全校生徒数が収容定員の 2 分の 1 (60 人)未滿となった学校については、「学校活性化地域協議会」の意見を聴いた上で地理的条件を考慮し、次の①～③までのいずれかとする ① 近隣の県立高等学校のキャンパス校 ② 特定の中学校と緊密な連携による「中中学園構想」への移行 ③ 統廃合（市町立学校としての存続を含む） ただし、近隣に他の高等学校がない場合は、別途検討
	山口県	4～8 学級	設定なし	・1 学年 3 学級以下は再編統合が基本、県外生募集等の特色がある場合は考慮 最小規模：本校 1 学年 2 学級（定員60人）（合格者数：熊毛北43人） 分校 1 学年 1 学級（定員30人）（合格者数：坂上10人、西市23人、奈古15人）

R5 全国調査結果等（抜粋）

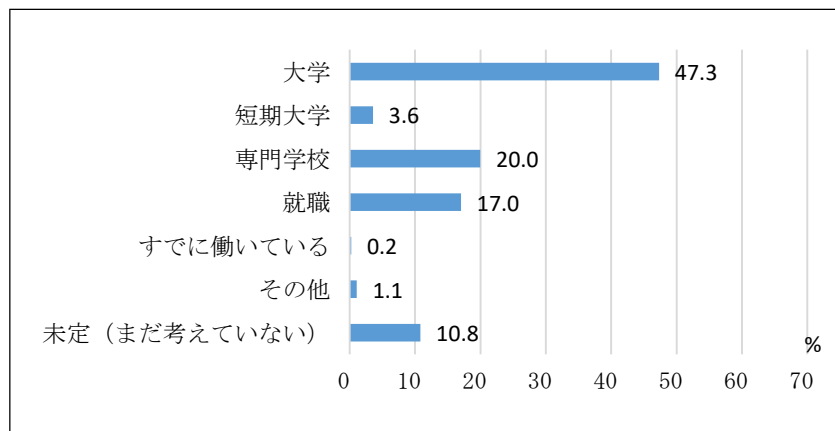
分類	道県名	適正規模について	最低規模について	
		基準等	基準	特例設定等
山間地域 や 島しょ部	北海道	設定なし	1 学年20人未満 (2 年連続)	・2 年連続下回っても、入学者確保に取り組む集中取組期間を設け再編整備を留保。その場合、 2年連続で10人未満は再編整備を進める ※離島の高校は1 学年10人未満
	青森県	4 学級以上	設定なし	○地域校の設置 ・募集停止等により高等学校への通学が困難な地域の高校は、通学状況を考慮した上で「地域校」として配置 ・2 学級規模の地域校については、入学者数が40人以下の状態が2 年間継続した場合、原則として翌年度に1 学級規模とする ・1 学級規模になった高校は、 2 年継続して定員の2 分の1 (20人)未満 の場合は、募集停止等に向けて、当該高校の所在する市町村等と協議
	岩手県	1 学級校を含め各地域の学校を規模も含めて維持	1 学年 2 学級未満	○ 通学困難地域の学校は1 学年 1 学級 近隣に他の高校がなく他地域への通学が極端に困難な場合、学びの機会を保障するため維持 なお、入学者数が 2 年連続で20人以下となった場合は、原則として翌年度から募集停止 をし、統合
	長崎県	1 学年 3 ～ 8 学級 キャンパス制が認められた学校： 1 学級20人以上を望ましい人数 小中高一貫教育の1 島1 高校： 1 学級10人以上を望ましい人数	設定なし	○キャンパス校 1 学級20人以上 ・キャンパス校導入要件「指定地区」 近隣の高校を本校とし、合同行事や授業等連携した教育を行う 2 年続けて、1 学級定員（40人）以下となり、全学年が1 学級規模となる段階で、キャンパス校へ移行 ○ 1 学年 1 学級10人以上 小中高一貫教育を実施している1 島1 高等学校

県立高校生（全日制・定時制昼間部）： 回答 7,961人

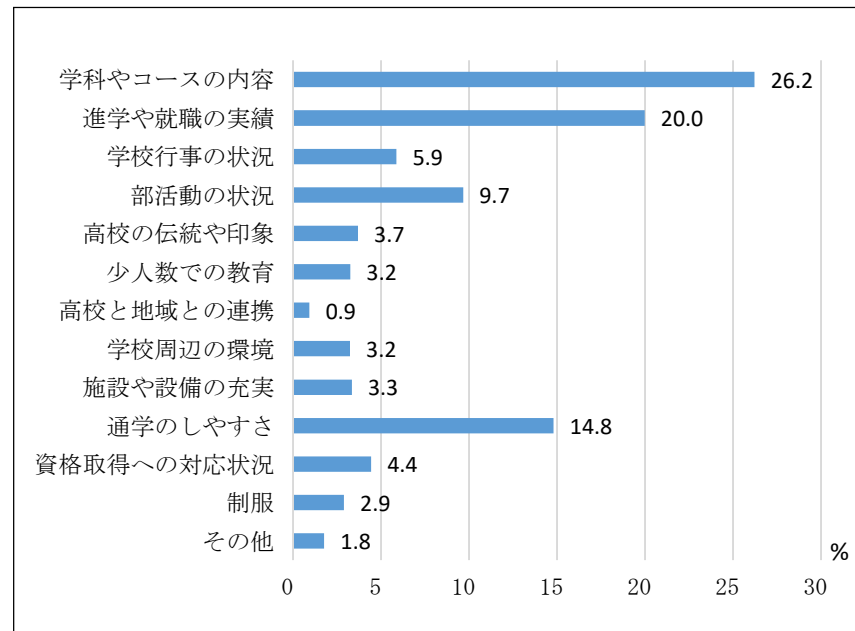
設問4 あなたは、高校までの通学時間（片道）は、どのくらいまでなら可能であると考えていますか。次の中から1つを選んでください。



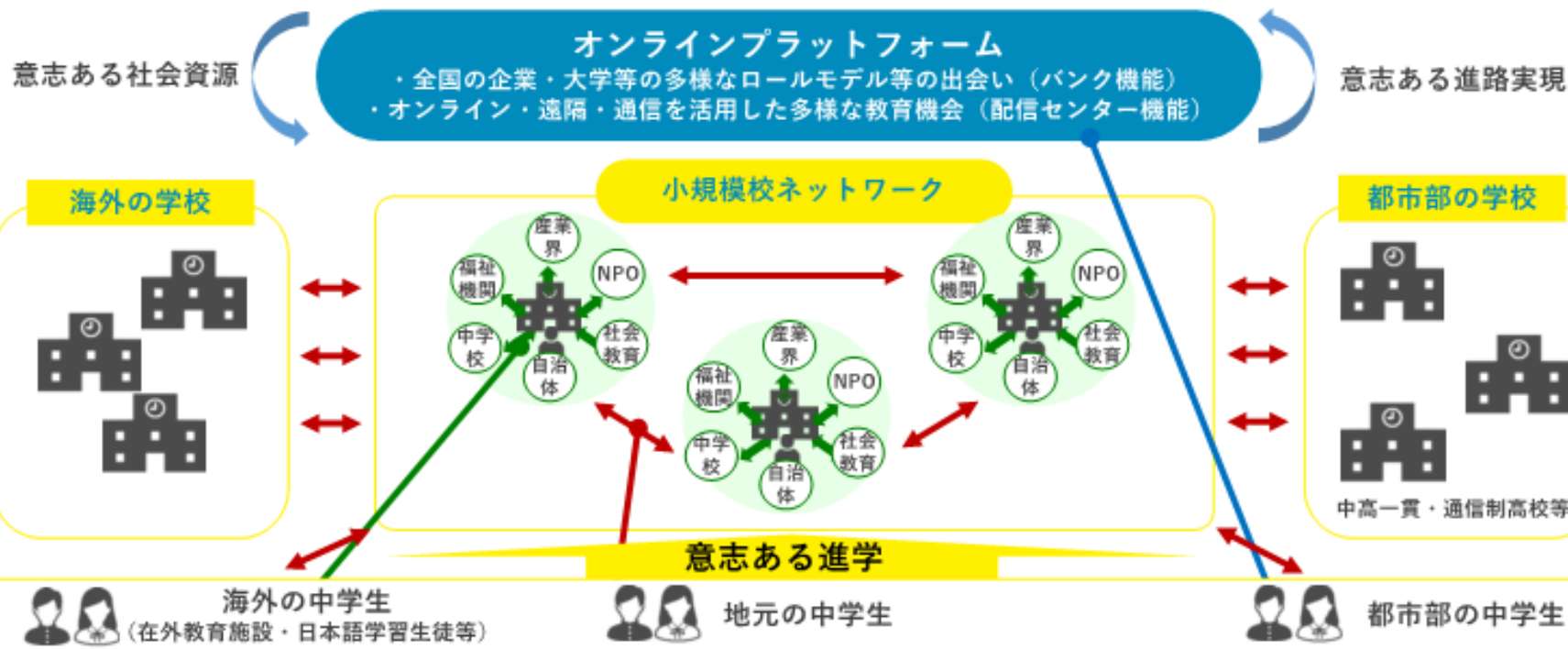
設問11 あなたは高校卒業後の進路をどのように考えていますか。自分の考えに最も近いものを1つを選んでください。



設問6 あなたが進学する高校を選ぶとき、重視したことは何ですか。次の中から2つまでを選んでください。



企業・大学等／社会人・卒業生等



地域・社会資源の活用

越境・交流の活用

デジタル・ICTの活用

現状課題 小さな学校の少ない資源での閉じた教育活動の限界。

目指す姿 コーディネート人材と地域・社会との協働体制により、地域・社会資源 (人・物・金など) を獲得し、魅力・特色ある教育環境を実現。

現状課題 多様な文化・価値観を有する他者と関わり協働する機会が少ない。

目指す姿 異なる文化・価値観を有する生徒と学びあう機会や、異なる環境に身を置く異文化・越境体験の機会を保障。

現状課題 教職員数が少なく、多様な科目の提供、習熟度別指導、部活動等の実施に限界。

目指す姿 オンライン・遠隔・通信活用により、多様な科目の提供や専門性の高い指導・習熟度別学習・部活動等の実現。

【参考資料】四国3県の高等学校のスクール・ミッション（抜粋）



高知家の教育

県名	学校名	課程・学科	スクール・ミッション
香川県	高松東	全日 普通科	創立110年を超える伝統ある普通科高校として、地域の熱意と期待に支えられた「絆」を大切にしながら「地域に根ざし愛される高校」をめざします。また、生徒の資質・能力を伸ばし、社会の変化にも柔軟に対応し地域や国際社会で活躍できる心身ともに健全で情操豊かな人間の育成をめざします。
	三木	全日 文理科・総合学科	グローバル化・情報化など変化する時代に柔軟に対応でき、未来の作り手となる「人材」の育成
		定時 普通科	自分のことを知り、自分の特性を活かし、目指す方向に前進する力を伸ばします。周囲の人を理解し、多様な考えを受容し、協働できる力を育みます。
	丸亀	全日 普通科	国家及び社会の有為な形成者として、知・徳・体の調和のとれた、心身共に健全な人間の育成を期する
		定時 普通科	社会が求める資質・能力を身につけて、地域社会に主体的に関わり貢献できる人材を育成する。
		通信 普通科	自律的な学びを通して、社会生活の基盤となる資質・能力や態度を身につけるとともに、自ら高め、自他を尊重する心をもち、自立して社会の中で生き抜く力を育成することができる学校をめざします。
愛媛県	小豆島中央	全日 普通科	学校の使命：「小豆島唯一の高校」（地域性）「四方の海に開き・世界へ漕ぎ出す高校」（開明性・先取性） 学校目標：「自立」「真心」「小豆島」ー自ら未来を切り拓き、社会に貢献できる人ー スローガン：「權風」ー風を読み、風を起こし、人生という海原へ、自分の力（權）で漕ぎだそう！ー
	今治西	全日 普通科	今治市にある普通科高校として、地域課題から国際問題まで、主体的に関り解決しようとするリーダーを育てます。また、仲間と切磋琢磨できる探究的な学習活動を通して、瀬戸内しまなみから国際社会を見据えて、未来を創造できる人材を育成します。
		定時 普通科	今治市唯一の夜間定時制高校として、多様な学習歴を抱える生徒のニーズを踏まえ、少人数での個に応じた学習の場を提供します。また、学校行事等の様々な活動を通して、温かい人間性と豊かな社会性を身に付け、自立し社会に貢献できる人材を育成します。
	西条農業	全日 農業科	東予にある農業科の単科高校として、地域に根ざし、地域と連携した農業教育を推進します。また、日々の教育活動を通して、生徒の自立を促し、地域資源を活かした農業の発展や、地域産業の活性化に寄与できる、スペシャリストとして必要な力を育成します。
	三島	全日 普通科・商業科	四国中央市にある普通科と商業科の併設校として、幅広い進路実現をサポートする教育を推進します。また、仲間と学び合い、鍛え合う教育活動を通して、社会や地域の未来を力強く創造する力を培うとともに、未来をたくましく生きる力を育成します。
愛媛県	北条	全日 総合学科	中予唯一の総合学科を設置する高校として、個性や適性に応じた多様な学びを提供し、幅広い進路希望に応えます。また、仲間と切磋琢磨できる環境を通して、一人一人の個性を最大限に伸ばすとともに、地域の未来を創造し、地域に貢献できる人材を育成します。

県名	学校名	課程・学科	スクール・ミッション
徳島県	城東	全日 普通科	仲間と切磋琢磨し、共に高め合う環境の中で、グローバルな企業・大学との連携による「企業研修」・「海外研修」・「探究活動」を中心に将来を見据えた教育活動を通して、高い志を持って国内外で活躍できる「グローバル人材」に必要な力を育成します。
	徳島北	全日 普通科・外国語科	英語教育をリードする学校として、ICTを活用し、コミュニケーション力を伸ばす授業や外国の人々と交流する「English Day」、「語学研修」などの体験活動を通して、国際社会に貢献する「グローバル人材」に必要な力を育成します。
	徳島科学技術	全日 工業科・水産科	「スーパーサイエンスハイスクール」の取組を核として、進学と就職に対応した教育システムのもと、工業、水産の専門的な学習と、高度な探究活動や国際交流などを通して、「未来社会の創り手」として地域や産業界の発展を担う技術者に必要な力を育成します。
		定時 工業科	適性や進路希望に応じた少人数での「機械、電気、建築」の学習や、「資格取得」に向けた学習などとおして、工業の専門分野に関する知識・技能を伸ばし、地域社会や産業界に貢献できる実践的な技術者に必要となる力を育成します。
	鳴門	定時 普通科	少人数の「家庭的な雰囲気」の中、様々な目標を持つ仲間が互いに切磋琢磨しながら友情を育むとともに、それぞれのニーズに応じて学習することとおして、夢の実現に必要な力を育成します。
	海部	全日 普通・商業・理数科	県内外から集う仲間が切磋琢磨し、「地域を学びの場とした探究学習（海部学）」や「オンライン英会話」、「起業体験」など、多様なニーズに対応した教育活動とおして、地域を大切に思う心と社会に貢献する力を育成します。